

部活動

特別後援会報

京都府立
西舞鶴高等学校
部活動特別後援会

部活動が教えてくれたもの

陰野典子(昭和52年卒)

突然の原稿依頼に驚き、高校を卒業して何年経つのだろうかと計算すると、四十五年が経過しておりました。

さて、何から思い出そうと考えるとやはり、学業ではなく部活動のバレーボールに励んだ三年間です。

中学校時代から始めたバレーボール、指導者、メンバーに恵まれ三年生では京都府代表となり全国大会・近畿大会出場と怖いもの知らず状態で高校に入学しました。

小学校は一学年人数が十五人、中学校でも五十人足らずとどの子と呼ぶ時も、〇〇君、〇〇ちゃんとアットホームでゆったりと学生生活を送っていました。

生意気で好き勝手に生活していたので、部活動に入部したら、先方や先輩の指示の意味がわからず、どのように行動したらよいかあたふたしていました。

社会人として 這い上がる力が身につく

きつと先輩方もとんでもない後輩が入部してきたと戸惑っていたと思います。

文武両道という言葉があります、私にはそれはとんでもなく辛いことでした。

電車通学の為、朝七時前に家を出て毎朝練習に行き授業中は眠たくなることも。それなりの成績しか取れませんでした。

練習は、一日休んだら取り戻すのに三日かかるのと教えだったので毎日休まず朝、放課後と本当に真面目にやっていました。

中学時代は、教えて貰ったプレーがすぐ身に付きどんどん上手くなっていくのが面白くて本当に楽しかったですが、高校では伸び悩みいつもイライラしていたように思います。

三年生になり府下大会決勝戦にはいくのですが、いつも準優勝です。

最後の国体京都予選決勝戦一セット、二セットともあと二点が取れず、やはり準優勝で終わりました。

自分の努力がまだ足りなかったのか? キャプテンとして何が足ら

なかったのか?と自分に問いかけても答えは出ませんでした。しかし、この悔しさがあつたから現在もプレーしボールを皆で繋ぐ楽しさに出会えたように思います。

部活動に参加することで、体力的、精神的にとことん追い込まれますが、這い上がる力を知らない間に身に付けているので、社会人になっても少々の事は自分で解決できたように思います。

バレーボールが生活の一部となつて五十年。現在も、週に一回の練習を楽しみに身体を動かしています。

そして、指導頂いた先生やコーチへの恩返しとバレーボールの普及活動の為、京都府バレーボール協会やママさんバレーボール連盟の役員となり大会運営やVリーグ大会開催のお手伝いと忙しい日々を送っています。

私の歩んできた人生には、バレーボールが仲間を作り、素晴らしい先生や指導者に会える運を引き寄せる道を築いてくれ有意義な日々を送れたと感謝しています。

先輩達の姿に 大きな勇気と希望を

校長 松 下 茂 男



部活動特別後援会の皆様には、日頃から西舞鶴高校部活動を御支援いただき誠にありがとうございます。

さて、九割を超える西高生たちが「勉強も、部活も、全部。」を合言葉に、部活動に情熱を燃やしています。今年度は陸上競技部とソフトテニス部、水泳部が近畿大会に進出したのをはじめ、文化部も各種コンクールでの入賞で学校を勢いづけてくれました。行事・イベントも少しずつ再開されはじめていますが、ボランティアとして活動する生徒たちに「若者のエネルギーが地域創生の一助となっている」とのうれしい声もいただいています。コロナ禍の影響で試合の欠場を余儀なくされる場面もありましたが、仲間と切磋琢磨しながら日々の練習に打ち込んできた彼らのひた向きの姿に心から拍手を送りたいと思います。

そんな西高生たちにとって、大舞台で活躍する先輩たちの姿は大きな勇気を与えてくれるものとなっています。バレーボー

ルVリーグ日本人最多得点記録を12シーズンぶりに塗り替え、日本代表でも大活躍の井上愛里沙選手。五年前、教育実習生として母校北門で先輩たちの登校を出迎えていた彼女は、今、フランスリーグAのサン＝ラファエルで新たな挑戦にアタックされています。

そして、ウイーンを拠点に世界で活躍されるコロラトゥーラのソプラノ歌手、田中彩子さん。プロ野球クライマックスシリーズの開幕戦、神宮球場でも国歌を独唱された彼女ですが、舞中創立一〇〇周年を記念しての母校凱旋講演会では、「目指している道の途中にも辛いことはある。どうせ辛い目に遭うなら、私はやりたいことをやろう、上から攻めようと思った」「高校時代の三年間は自分の未来を考えてほしい」と体育館壇上から後輩たちにエールを送っていたいただきました。また、音楽室でリハールした舞中・舞女校歌復活プロジェクトにも参加され、二人一組で腕の引っ張り合いをしな

がら校歌を歌うユニークな指導のお陰で、生徒たちの歌声も一気に明るく活気づきました。

きっと先輩たちも、西高の制服姿で笑いながら悩みながら高校生活を送ってきたはずです。そして、大江選手の銅像に刻まれた「努力と友情」の言葉に励

青春って密って本当

保健体育科主任 戸井田 明



まされてきたことでしよう。西高の歴史と伝統が育んできた他者を尊重し協調する精神や挑戦し続ける逞しい克己心は、文武両道の校風となって広く地域や同窓生とも共有され、多くの人々の勇気や希望につながっていることを誇らしく思っております。

西高の伝統を支える部活動をポストコロナも見据えて改善していくためにも、会員の皆様にも一層の温かい御支援と御声援をお願い申し上げます。

部活動特別後援会会員の皆さまには、日頃から本校の活動に対して、御理解、御協力いただきありがとうございます。

三年前新型コロナウイルス感染症が蔓延し、多くのスポーツ行事が自粛する流れがあり、私もどこか運動をおもいつきやるといふことをためらっていました。コロナ対策とはいえ生徒たちにも声出しは禁止、ハイタッチは禁止といふようなことを制限してきました。そこからWith コロナという考え方も浸透し、イベントや大会が感染対策をとって開催されるようになってきました。今年度私が印象に残った大会を紹介します。それは、第一〇四回全国高等学校野球選手権大会です。私も

毎年楽しみに見ている大会です。その毎年見ているこの大会がなぜ印象に残ったかというと、この大会で東北勢初の優勝を果たした仙台育英の須江監督のインタビューの発言があったからです。その発言とは、「青春って、すごく密なので」です。私はこれを聞いたときに何か忘れていたものに気づかされました。私の中学、高校生時代は部活動のために学校に行っていたようなもので、その部活動では多くのことを学びました。礼儀や周りを見て何をすべきなのかを考えて、先に先に行動するな

この期間に身につけることができました。それに加え、とにかく部活動が楽しかったです。お

も、全力で部活動に取り組み、多くのことを学び、たくさん思い出を作ってほしいです。この西舞鶴高校だったからよかったと思えるような青春を過ごしてもらいたいと思います。会員の皆さまにおかれましては、今後とも本校部活動に対して温かい御支援をよろしくお願



【令和4年度 通信制活動報告】

- 令和4年度京都府高等学校総合体育大会 両丹高等学校定時制通信制総合体育大会
 - 開催日： 9月17日(土)
 - 会 場： 宮津市民体育館
 - 結 果： バドミントン男子ダブルス「優勝」 大月 正樹・四方 悠登
バドミントン女子ダブルス「3位」 平 七海・安田 愛美
卓球女子個人「3位」 奥村 柚依
- 令和4年度近畿高等学校定時制通信制課程体育大会 バドミントン競技の部 両丹予選会
 - 開催日： 9月3日(土)
 - 会 場： 京都府立東舞鶴高等学校浮島分校
 - 結 果： 男子シングルス「優勝」 大月 正樹
- 令和4年度近畿高等学校定時制通信制課程体育大会 バドミントン競技の部 京都府予選会
 - 開催日： 9月23日(金・祝)
 - 会 場： 東舞鶴高校浮島分校
 - 結 果： 男子シングルス「優勝」 大月 正樹
- 令和4年度近畿高等学校定時制通信制課程体育大会 バドミントンの部 出場
 - 開催日： 11月6日(日)
 - 会 場： 千島体育館(大阪市)
- 令和4年度近畿高等学校定時制通信制課程体育大会 陸上競技の部 京都府予選会
 - 開催日： 9月18日(日)
 - 会 場： 京都府立丹波自然運動公園陸上競技場
 - 結 果： 男子100m「3位」及び男子200m「2位」 近久 仙一
- 令和4年度近畿高等学校定時制通信制課程体育大会 陸上競技の部 出場
 - 開催日： 11月6日(日)
 - 会 場： 金岡公園陸上競技場(堺市)
- 令和4年度「いちご一会とちぎ大会」全国スポーツ水泳競技の部
 - 開催日： 10月29日(土)～31日(月)
 - 会 場： 日環アリーナ栃木屋内水泳場(宇都宮市)
 - 結 果： 男子平泳ぎ25m「4位」及び50m「4位」 櫻井 悠登
- 令和4年度第18回京都府高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会
 - 開催日： 9月8日(木)
 - 会 場： 京都府総合教育センター
 - 結 果： 優秀賞一席(京都市教育長賞) 杉山 陽菜
- 令和4年度近畿地区高等学校通信制生徒生活体験発表大会
 - 開催日： 10月8日(土)
 - 会 場： 賢明学院高等学校(堺市)
 - 結 果： 特別賞 杉山 陽菜、奨励賞 古川 結子



部活動特別後援会の皆さまにおかれましては、平素より本校通信制の教育活動に係り御理解と御支援をいただきありがとうございます。

躍進の一年

通信制副校長 **金井克彦**

今年度は、「バドミントン部」「陸上競技部」が近畿大会に出場するとともに、「京都府高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会」において、代表生徒が二年連続「優秀賞一席(第二位・京都市教育長賞)」を獲得する等、スクーリング日(週一回)を中心とした限られた活動時間ではありましたが、通信制生徒の活躍が光る一年となりました。

次年度も引き続き、通信制生徒の活躍を期待したいと思います。

テニス	水泳	柔道	剣道	ソフトボール	卓球	サッカー	バレーボール	バドミントン	陸上競技	バスケットボール	ソフトテニス	野球																										
三浦良樹	栗山真美子	兼田真由美	大塚朋代	齊藤圭介	吉田真一	林洋一	榎和彦	土手敏通	松浦花音	中井巧也	栗山真美子	卯瀧喜崇	加茂樹(通)	川端茂大	三宅隆典	仲井千恵	橋本雅	吉田直矢	廣瀬正人	永井国浩	川上顕広	田村繁人	村上巨	小森仁一朗	田中翔太	岩佐幸葵	松田浩典	戸井田明	澤井恵莉子	柏野大樹	松尾佳奈	木南成明	高橋昌輝	本田隆貴	遠藤晋生	奥藤俊博	白井晋平	新谷俊行
探	自然	W	演	茶	囲碁・将棋	写	ボランテニア	美	書	放	パソ	料	吹																									
究	科学	S	劇	道	棋	真	ア	術	道	送	コン	理	奏																									
全大渡小田本小土平橋井仲棟小兼嶽河高松澤戸三野松野渡本棟本田土栗林松河三	大塚邊森村藤栗師野野本上井方粟田真由美	渡邊仁一繁聡由千弘(通)雅	田村繁人	本藤美由起	土師千穂	平野弘	橋本沙織	井上千恵	仲井千恵	棟方良	小栗美由起	兼田真由美	嶽美	河合美咲	高橋昌輝	松田浩典	澤井恵莉子	戸井田明	三宅隆典	野坂尚司	松尾佳奈	野坂尚司	渡邊美咲	本藤聡仁	棟方聡仁	田村繁人	土師千穂	栗山真美子	林洋一	松浦花音	河合美咲	三浦良樹						

令和4年度 部活動顧問紹介

運動部 文化部

令和四年度

部活動報告

ソフトテニス部

部活動で学んだこと

三年 橋本 光

高校一年次にコロナ禍によつて多くの大会が中止されていった時の気持ちを今でも鮮明に覚えています。練習においても様々な規制が設けられ、また部員の数が少なかった事もあり、当時の部活動の状況はあまり良くありませんでした。しかし、その様な状況下だからこそ気づけた事がありました。

一つ目は熱い思いを持った仲間の大切さです。中学校の部活動では同じ部活の同級生は十人以上いましたが、その中でも本気で取り組んでいる人は半分ほどしかいませんでした。しかし、高校では同級生がわずか四人で、先輩と合わせても九人しかおらず、チームを組むのもギリ



ギリ、そんな状況からスタートしました。初めは、人数が少なく全員が高いモチベーションを維持してやっていけるか心配でしたが、それはすぐにいらぬ心配だと気付きました。なぜなら、部活動に対して全員が同じ熱い思いを持っていたからです。誰かが「自主練をしよう。」と声をかければ、周りはそれに応えてくれる。そんな仲間に出会い切磋琢磨することができて本当に良かったです。

め、部活が始まる一時間前に集まって今後の方針や練習方法について話し合うこともありましたが、初めはうまくいかないことが多かったです。自分たちがやっていることは正しいのか自問自答する中で結果もなかなか出ることが出来ず不安になることもありました。しかしそれでも最後まで信じてやりきったからこそ、最終的に京都府四位・近畿大会出場という結果を掴むことが出来て本当に嬉しかったです。

最後に、高校部活動の濃い時間の中で気づいたことや学んだことを忘れることはないと思います。今後何をやるにしても、部活動で学んだことを生かして、「やりきって良かった。」と思えるように今を精一杯頑張っていきたいです。

ソフトテニス人生

三年 坂根 崇文

僕は小学校三年の時に、「何でもいいから一つスポーツをしよう」と母に言われ姉がやっていたこともあり、ソフトテニスを始めました。入ってから半年間ぐら

いは、全然友達が出来ず全然楽しくなかった記憶があります。そこから、友達も出来てソフトテニスを楽しく感じるようになって練習が終わっても自主練習をする毎日が続きました。そんな中、京都府の大会で勝ち進み、初の近畿・全国大会に出場し、本格的にソフトテニスにはまっていきました。そこから何回か近畿・全国大会に出場し、中学校に進学し、とにかくキツくてしんどい練習を耐え抜き、中学校でも近畿・全国大会に出場することができました。そして、小学校・中学校と一緒に頑張ってきた友達と共にインターハイ出場を目標に西舞鶴高校に入學しました。しかし高校入学して一カ月後足を骨折し、練習をし

たくても出来ないという日々が二ヶ月も続きました。皆が練習をしている側でベンチに座り、見学するという日々がとても苦しかったです。やっと、骨折が治り練習を頑張っていると、今度は、左膝に水がたまっていました。そこからまた一週間ほど練習に行けなくなっていました。個人でインターハイ出場、団体で近畿体大会出場という目標のもと、練習を頑張りました。やがて、三年生が引退し新体制になると、主将をまかされることにな

乗り越えた壁

二年 小笹 彩音

演劇部

なりました。しかし、もともと部員数が少なかったことに加え、休みがちな部員やけがをしていた部員もいたので練習どころではないという現状に陥りました。コート整備やランニングなどテニス以外の時間の方が多かったです。そんな中でも、明確な目標があったので頑張ることができました。そして、個人でインターハイ出場という目標は達成できませんでしたが、団体で近畿出場という目標は達成することができたので良かったです。

昨年四月、先輩方含め四人だった演劇部は先輩方が引退した後、一年生八人と二年生一人が入部し十人というとてもにぎやかな部活になりました。昨年



とは違い、私一人で台本から演出まで考え、さらに主役をやらなければならぬ。部員が増えたことへの喜びと責任が増えたという不安で毎日押しつぶされてきました。

なんとか台本を書き上げ、読み合わせから始めた夏休み。近畿大会出場を目指していた私たちは、まずは夏休み明けの両丹大会で、最優秀賞をとることを目指していました。全員で意見を出し合っては練習を繰り返し、すごく充実していました。しかし、文化祭まで約二週間、両丹大会まで約三週間という時に一人退部してしまいました。学校祭期間でもあったので、大会ま

で実質二週間しかありませんでした。台本の書き直しから始め、それを覚えて動きをつける。大会出場を諦めるしかないのではなか。私たちは夏の空が暗くなるまで話し合いました。中途半端な演劇はしたくなかった私は、裏切られたという気持ちと私のせいで部員一人を失ったのではないかとこの気持ちから大会を辞退したいと考えていました。そんな中、一年生八人は「辞退したくない。今迄先輩に頼りっぱなしだったけれど、僕たちも支えたい。」と言ってくれました。私はその気持ちが嬉しくて涙が止まりませんでした。それから、全員が限られた時間の中でできる最大限のことをしました。両丹大会最優秀賞をとれた時の驚きと嬉しさは一生忘れな

いと思います。

目標としていた近畿大会出場は叶わず、悔しかったし、後悔がないといえば嘘になります。それでも、仲間がいたからこそ乗り越えられた大きな壁は私の自信になりました。あの時支えてくださった仲間と先生には感謝しかありません。



ボランティア部

花壇再生

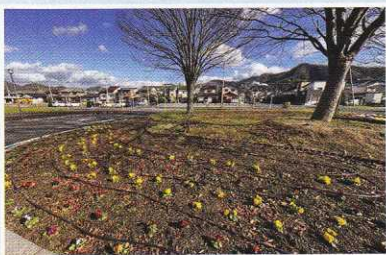
プロジェクト

二年 藤田 葵

私が今年頑張ったことは、花壇の整備活動です。私はボランティア部に所属しています。入部した理由は、活動が楽しそうだったからです。現在、ボランティア部が取り組んでいることの一つに花壇再生プロジェクトがあります。

花壇再生プロジェクトとは、西舞鶴駅東口にある花壇の整備を西舞鶴高校の生徒が行うというものです。この花壇の整備は、ある先輩が

手入れの行き届いていない現状に気が付き、他人事とせずに行動してくださったことをきっかけにボランティア部で取り組んでいます。



私は、この先輩の「自分の街を自分の手で綺麗に保ちたい」と言う考えに共感して、この活動の実行委員に立候補しました。私がこの活動を通して、学んだことは「自分出来ることをしようとする姿勢の大切さ」です。例えば、この活動です。私たちは、地域の方々と協力して、約二ヶ月に一回草抜きをしたり、季節の花を植えたりしました。また、去年の十月には、東舞鶴の花壇を整備されている市議会議員の方の協力を得て、土壌整備にも取り組みました。花も分けて頂いて、見る人が「綺麗だな」と思えるように見える工夫をして植えました。また、「自分たちで一から始める大変さ」も学びました。例えば、この活動を行う時の計画書

水泳部

夏に向けて

二年 永江 来聖

や報告書の作成、提出、参加者を募ることで。市役所に提出する書類を作るのは初めてでも緊張しました。参加者が集まらなくて、全部活の部長を訪ねて周ったこともありました。自分たちが先輩からこの活動を受け継いだばかりの時は、活動時の進行が上手くいかず自分の不甲斐なさを感じ、落ち込むこともありました。しかし、「私が綺麗にした花壇を見て、誰かを笑顔に出来たらいいな」と思い、仲間と協力して頑張ることができました。

今年、夏の近畿大会に出場することを目標に頑張ってきましたが、その大会には出場できず、新人戦のみとなりました。

今年度を振り返ったときに一番忘れられないのは、何度か水泳を辞めようと思っていた時です。思うような記録が出ずに、次第に試合にも出たくなくなり何を目標に練習に行けばいいのかわからなくなった時期がありました。今思うと、逆にこの時期があったから、今頑張れるのかもかもしれません。

二年生の冬休みが終わり、本格的に受験勉強がスタートすると同時に水泳ができるのもあと半年ほどとなりました。今年の目標は近畿大会で水泳を終えることです。なのでより厳しい生活になると思います。二つの選択肢が迫ったら、より強くなれる方を選んでいきたいです。また、残り少ない練習の時間を無駄に過ごさないように頑張っていきたいです。

落ち込んでいた状態からここまでこれた要因に、人が頑張る姿というのがありました。クラブの人たち、試合で出会った人たちが、目標に向かって努力しているのを見たり、話を聞いたり、何か感じるものがありました。特に大きかったのが学校で部活動をしている友達です。友達の話の話を聞くと、「自分も頑張らない」と感じました。もう水泳をする時間も残り少

なくなってきた、目標を達成するまで頑張らないといけません。最後の大会まで悔いの残らないように一生懸命頑張りたいです。

夢を叶える

二年 山崎 渚

僕は、今年も近畿大会に出場することができました。近畿大会にはインターハイで優勝する人もいて、とてもかっこいいと思ったり、改めてその凄さを実感し、僕もその人たちのようになりたいと思いました。僕は去年からほとんど記録を伸ばすことができなかったけど、速い人の泳ぎを見て学ぶこともあったし、自分自身の課題も見つかったので、成長に繋がることができたと思います。インターハイに行くには近畿大会で標準記録を突破する必要がありますが、まだまだ遠いです。けど、全国大会に出場することを目標にこれまで頑張ってきたので最後まで諦めずインターハイに出場するという目標を達成したいです。

もあと一年になりました。コロナの影響で練習や大会ができないこともあったけど、これからはもうなるかわからないので、今水泳ができることに感謝して、自分ができる最大の努力をしたいです。僕が頑張れるのはいろんな人の支えや、競い合える仲間がいるからなので、感謝を忘れずに、支えてくれる人のためにも頑張りたいです。練習できる時間は限られているので、時間を大切に、後悔せず笑って終われるようにしたいです。

そして、来年は受験もあります。勉強にももっと力を入れていかなければいけないので、勉強と水泳を両立させるのは簡単なことではないかもしれませんが、でも、インターハイに出場すること、第一志望の大学に合格するという水泳と勉強の両方の目標を達成できるように頑張りたいです。



部活動実績

陸上競技部

▶第75回近畿高等学校陸上競技対校選手権大会 (6月16日)

種目 女子走幅跳 岸田 真弦

男子ソフトテニス部

▶令和4年度近畿高等学校ソフトテニス選手権大会 (7月20日)

種目 団体戦 (坂根 崇文、小林 元慎、山崎 奏汰、橋本 光、長崎悠一郎、高峰 璃音、木本 晴琉、石間 日彩)

水泳部

▶第76回近畿高等学校選手権水泳競技大会 (7月22日～24日)

種目 男子100mバタフライ、男子200mバタフライ 山崎 渚

▶第6回近畿高等学校新人水泳競技大会 (10月8日～9日)

種目 男子 50mバタフライ 永江 来聖
男子100mバタフライ 山崎 渚

